

# えべつ 市議会だより

令和2年8月1日発行

## No.142

発行 江別市議会  
江別市高砂町6番地  
電話011(381)1051  
編集 議会広報広聴委員会  
印刷 江別印刷業協同組合

### 新型コロナウイルス感染防止のため市役所窓口に仕切りを設置



新型コロナウイルスの感染については、予断を許さない状況は続いており、今後も感染への注意が必要です。第2回定例会と臨時会では、新型コロナウイルス対策に関係する補正予算や条例が審議されました。一般質問でも、それぞれの議員が取り上げておりますので、どうぞらんください。

## 主な内容

- ◇ 特集「新型コロナウイルス感染症に関する一般会計補正予算」 ・ 2～3
- ◇ 第2回定例会、第1回、第2回臨時会の概要 …… 4～5
- ◇ 一般質問 …… 6～10
- ◇ 各委員会 …… 11
- ◇ 特集「江別市議会基本条例・江別市議会会議規則の一部改正について」 ・ 12

### 次期定例会の開催予定

- 第3回定例会  
9月1日～25日
- 各委員会  
9月2日～17日
- 一般質問  
9月9日～11日

※日程は予定になります。  
詳しくは議会事務局まで  
お問い合わせください。

[市議会ホームページ](http://www.city.ebetsu.hokkaido.jp/site/gikai/) <http://www.city.ebetsu.hokkaido.jp/site/gikai/>

ホームページでは、議案等に対する各議員の賛否の状況や会議録(本会議・各委員会)など、議会の情報がらんになります。

また、江別市議会フェイスブックでも、議会の最新情報を発信しておりますので、こちらもぜひらんください。



障がいのある方のための、点字とCDによる「えべつ市議会だより」もあります。

(詳細)障がい福祉課障がい福祉係 ☎(011)381-1031

新型コロナウイルス感染症に関する

# 一般会計補正予算

令和2年第1回定例会以降、5月15日に第1回臨時会を、6月5日に第2回臨時会を開催しました。

第1回臨時会では、令和2年度一般会計補正予算(第1号)が、第2回臨時会では同じく一般会計補正予算(第2号)が提案され、それぞれ全員一致により原案のとおり可決されました。

また、第2回定例会では、初日に一般会計補正予算(第3号)が、さらに最終日に一般会計補正予算(第4号)が提案され、一般会計補正予算(第3号)は多数により、一般会計補正予算(第4号)は全員一致により原案のとおり可決されました。

新型コロナウイルス感染症対策事業は、30超に及んでおり、その中から主な事業について掲載いたします。各事業の詳細については、「広報えべつ」や市の公式ホームページ等でご確認ください。

なお、特別定額給付金は、申請期限が8月11日に迫っておりますので、手続のお忘れがないよう、ご注意ください。

## 市民・世帯向け



○特別定額給付金… 市民1人当たり10万円を給付【申請期限8月11日】

○生活困窮者自立支援事業… 住居確保給付金制度の対象拡大

○ひとり親世帯への臨時特別給付金… 児童扶養手当受給者及び公的年金等の受給により児童扶養手当を全額停止されている方への臨時特別給付金

○学生への臨時特別給付金… 国の「学生支援緊急給付金」を受給する学生のうち、市内に居住または市内4大学に在籍する学生に5万円を給付

○その他… 子育て世帯応援図書カード配付事業、妊婦・乳幼児への訪問・遠隔相談事業

## 事業者・団体向け

- 飲食店等支援給付金
- 卸・小売業者支援給付金
- 宿泊事業者支援給付金
- 理美容業支援給付金
- 公衆浴場支援給付金
- 一般旅客自動車運送事業者支援事業
- 大学生アルバイト新規雇用事業者給付金
- 学生アルバイト雇用農業者給付金
- 放課後児童クラブ等環境整備事業
- 保育施設等環境整備事業
- 民間社会福祉施設整備費補助事業
- 介護事業者連携事業
- 新型コロナウイルス地域医療連携事業
- 医療機関等支援給付金事業
- 新型コロナウイルス経済対策相談窓口の設置
- 雇用調整助成金申請支援員の設置

飲食店など、緊急事態宣言の影響が著しい事業や感染防止のための環境整備・衛生管理が必要な団体等に対する支援給付金

大学生等のアルバイト先確保のため、大学生等を新規雇用した事業者・農業者に対する給付金

放課後児童クラブや保育施設、介護、医療にかかわる団体等に対する感染防止のためのマスク等の購入費や環境整備・衛生管理に対する支援・補助及び給付金

感染症の発生に備えた市内医療機関等との協議の場の設置及び継続的な医療提供体制構築に必要な医療資材の購入費

商工会議所との協力による経済対策支援等の総合相談窓口の設置  
各種給付金の申請受理・専門相談員の配置等

## 令和2年度一般会計補正予算額

|        |                     |              |
|--------|---------------------|--------------|
| 第1回臨時会 | 令和2年度一般会計補正予算 (第1号) | 12,713,449千円 |
| 第2回臨時会 | 令和2年度一般会計補正予算 (第2号) | 164,510千円    |
| 第2回定例会 | 令和2年度一般会計補正予算 (第3号) | 108,903千円    |
| 第2回定例会 | 令和2年度一般会計補正予算 (第4号) | 259,637千円    |
| 合 計    |                     | 13,246,499千円 |

※新型コロナウイルス感染症対策を中心とした補正予算の総額

# 令和2年 第2回 定例会

第2回定例会は6月11日から6月25日まで15日間の会期で開かれました。市特別職の職員の給与の臨時特例に関する条例の制定などの議案41件、諮問2件、意見書案1件、陳情1件、報告7件を議了したほか、陳情1件については閉会中の継続審査となりました。

主な議案の内容についてお知らせします。

また、新型コロナウイルス感染症対策を早急に実施するため、第1回臨時会が5月15日に、第2回臨時会が6月5日に開催されました。各臨時会に提出された議案は、5ページのとおりです。

## 条 例

◎市特別職の職員の給与の臨時特例に関する条例の制定

市立病院の経営再建に向けた取り組みを市職員全体の問題と捉え、市職員が一丸となって市立病院の経営再建を後押しする必要があることから、経営再建の集中改革期間中である令和2年7月から令和5年3月までの間、臨時特例的に給与を減額して支給するため、新たに条例を制定するものです。

◎市職員の給与の臨時特例に関する条例の制定

常勤の特別職の給料月額について、市長は30%、副市長は20%、教育長と水道事業管理者は10%に相当する額を削減するなどの特例措置を設けるものであります。

また、医師職を除く一般職の管理職員についても、給料月額2.5%と管理職手当の10%に相当する額を削減するなどの特例措置を設けるもので、これらの議案は、多数により原案のとおり可決されました。

また、医師職を除く一般職の管理職員についても、給料月額2.5%と管理職手当の10%に相当する額を削減するなどの特例措置を設けるもので、これらの議案は、多数により原案のとおり可決されました。

◎市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正

新型コロナウイルス感染症に対処するための作業に従事した職員に対し、国家公務員に準じて防疫業務手当を支給するために必要な改正を行うもので、本議案は、全員一致により原案のとおり可決されました。

## 人 事

◎人権擁護委員候補者の推薦

- ◇小林正枝氏の推薦を可と答申
- ◇一柳紳二氏の推薦を可と答申

◎教育委員会の教育長の任命

- ◇黒川淳司氏の任命に同意

◎教育委員会委員の任命

- ◇林大輔氏の再任に同意

◎農業委員会委員の任命

- 浅野目貴史氏、伊藤良明氏、大井川和雄氏、工藤多希子氏、佐藤和人氏、佐藤昇氏、清水雅彦氏、田中浩一氏、得能謙二氏、中島清文氏、中田和孝氏、西純一氏、長

- 谷川礼子氏、保倉浩行氏、松下博樹氏、三好雄一氏、百瀬誠記氏、山口利夫氏、山田保彦氏、渡部正廣氏の任命に同意

◎固定資産評価審査委員会委員の選任

- ◇小林敏道氏の再任に同意

## 予 算

◎一般会計補正予算(第3号)

給与の独自削減による減額のほか、給与の独自削減額を原資として病院事業会計に繰り出す経営再建支援補助金や新型コロナウイルス感染症への対応に関連して支給する防疫業務手当の追加などにより、1億890万3千円を増額し、予算総額は、579億9千686万2千円になるもので、本議案は、多数により原案のとおり可決されました。

◎水道事業及び下水道事業会計補正予算

給与の独自削減による減額などにより、水道事業は1千306万3千円を減額し、下水道事業は816万3

千円を増額するもので、これらの議案は、全員一致により原案のとおり可決されました。

◎病院事業会計補正予算(第2号)

給与の独自削減による減額のほか、医師の招聘などに関する指導・助言を行う顧問の設置に伴う報酬の増額などにより、1千438万6千円を増額するもので、本議案は、多数により原案のとおり可決されました。

陳 情

■趣旨採択となった陳情

◎江別市に5G基地局設置規制に関する条例を制定することを求めることについて  
河野彩子氏

■継続審査となった陳情

◎今後さらなる交渉が予定されている日米自由貿易協定に対して慎重な審議をするよう国に意見書を提出することを求めることについて  
森山直子氏

そのほか第2回定例会(6月11日～6月25日)に提出された議案

| 件 名                             | 議決結果       |
|---------------------------------|------------|
| 財産の取得について(大型ホイールローダ(除雪ドーザ)の購入)  | 原案可決(全員一致) |
| 財産の取得について(災害支援車の購入)             | 原案可決(全員一致) |
| 財産の取得について(救急自動車の購入)             | 原案可決(全員一致) |
| 新栄団地公営住宅建替E棟建築工事請負契約の締結について     | 原案可決(全員一致) |
| 固定資産評価審査委員会条例の一部改正              | 原案可決(全員一致) |
| 市税条例等の一部改正                      | 原案可決(全員一致) |
| 都市計画税条例の一部改正                    | 原案可決(全員一致) |
| 国民健康保険税条例の一部改正                  | 原案可決(全員一致) |
| 市議会基本条例の一部改正                    | 原案可決(全員一致) |
| 市議会会議規則の一部改正                    | 原案可決(全員一致) |
| 一般会計補正予算(第4号)                   | 原案可決(全員一致) |
| 地方財政へのさらなる支援を求める意見書             | 原案可決(全員一致) |
| 一般会計予算繰越明許費の繰越報告について            | 報告済        |
| 株式会社江別振興公社の令和元年度決算に関する書類        | 報告済        |
| 一般財団法人江別市スポーツ振興財団の令和元年度決算に関する書類 | 報告済        |
| 株式会社フラワーテクニカえべつの令和元年度決算に関する書類   | 報告済        |

第1回臨時会(5月15日)に提出された議案

| 件 名                                 | 議決結果       |
|-------------------------------------|------------|
| 国民健康保険条例の一部改正                       | 原案可決(全員一致) |
| 後期高齢者医療に関する条例の一部改正                  | 原案可決(全員一致) |
| 一般会計補正予算(第1号)                       | 原案可決(全員一致) |
| 国民健康保険特別会計補正予算(第1号)                 | 原案可決(全員一致) |
| 病院事業会計補正予算(第1号)                     | 原案可決(全員一致) |
| 専決処分につき承認を求めることについて(市税条例の一部改正)      | 承認         |
| 専決処分につき承認を求めることについて(都市計画税条例の一部改正)   | 承認         |
| 専決処分につき承認を求めることについて(国民健康保険税条例の一部改正) | 承認         |
| 専決処分につき承認を求めることについて(介護保険条例の一部改正)    | 承認         |

第2回臨時会(6月5日)に提出された議案

| 件 名                  | 議決結果       |
|----------------------|------------|
| 介護保険条例の一部改正          | 原案可決(全員一致) |
| 一般会計補正予算(第2号)        | 原案可決(全員一致) |
| 国民健康保険特別会計補正予算(第2号)  | 原案可決(全員一致) |
| 後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) | 原案可決(全員一致) |
| 介護保険特別会計補正予算(第1号)    | 原案可決(全員一致) |

# 議員が市政をただす 一般質問

※今定例会では、13人の議員が一般質問を行いました。

誌面の都合上、各議員が行った質問の中から、1人2項目を要約してお伝えいたします。



▼市立病院での院内感染対策  
**質問** 新型コロナウイルスに対する感染管理の今後の展望は。

**答弁** 市立病院では、入院患者への原則面会禁止や来院者への検温・エックなどの対策を実施しており、発熱症状のある患者は別のスペースへ案内し、他の患者等との接触を減らすなど、可能な限りの取り組みを行ってきた。さらに、厚労省の通知に基づき、定期通院患者に対する電話での診療や院外処方箋発行にも対応し、安全・安心な医療体制の構築に努めている。

今後、オンライン診療等の新たな診療方法の導入など、病院全体の感染防止対策について、引き続き検討していきたい。

## ▼地域医療連携のあり方

**質問** 江別市介護保険施設感染症対応ネットワークの活動を踏まえ、地域医療連携のあり方をどのように考えているか。

**答弁** ネットワークは、近隣自治体の介護施設等で、新型コロナウイルスの集団感染が相次いだことから、その備えとして、市と介護事業者との連携や介護事業者間における協力体制の強化などを目的として、本年5月に発足したもので、12施設が参加し、SNSを活用して感染症対応の意見交換を行っている。

今後は、同ネットワークから出された意見や課題等について、医療、介護、福祉関係者による江別市医療介護連携推進協議会に情報提供し、課題解決に向け、議論を深められるよう支援を行っていききたい。



自民クラブ  
芳賀 理己 議員

## ▼生活保護制度の周知の徹底

**質問** 新型コロナウイルスの影響下では、生活保護が必要な方に広く情報を知らせる必要があるのでは。  
**答弁** 市では、市民の皆様へ生活保護制度の概要などを知っていただくことを目的に、リーフレットを作成している。また、平成27年度から、経済的に困窮している方などの自立支援のための相談窓口「くらしサポートセンターえべつ」を江別市社会福祉協議会に委託して設置しており、必要な方に適切な支援を提供できるよう、さらなる連携に努め、対応していきたい。

今後は、リーフレットの配置場所をふやすほか、ホームページを活用するなど広く周知していきたい。

## ▼臨時休校の長期化による子供の心身のケア

**質問** 長期にわたる休校で、心身ともに不安定になっている子供たちのケアを進める必要があるのでは。  
**答弁** 臨時休校中は、非常時の子供の心の動きや保護者の対応に関するリーフレットを作成し、保護者にメール等で送付したほか、電話での状態確認に努めてきた。また、学校再開に向けた準備として、スクールソーシャルワーカーを講師とした教職員研修などを開催し、学校再開後には、学級担任や養護教諭が中心となり、児童生徒をきめ細かく見守り、必要に応じて、健康相談の実施等による支援を行っている。

引き続き、保護者と連携して対応するなど、児童生徒への心身のケアの充実に努めたい。



日本共産党議員団  
佐藤 美佐子 議員

このほか、新型コロナウイルス感染症の影響下における避難所のあり方について質問がありました。

▼臨時休校に伴うオンライン学習の実施  
**質問** 新型コロナウイルス感染拡大による臨時休校時に児童生徒の学習機会の確保のため、オンライン授業を実施することについてどのように考えているか。

**答弁** 市教委では、新型コロナウイルス感染症のみならず、今後の自然災害発生等による臨時休校などの緊急時に備えて、子供たちの学びを保障するため、早急にICT環境基盤の整備を進める考えであり、オンライン授業の導入に向けて検討を行っている。導入に当たっては、学校の設備やセキュリティ、各家庭におけるインターネット環境などに課題があることから、これらの解決に向け、他市の先進事例を参考にするなど、引き続き検討していきたい。

▼GIGAスクール構想

**質問** GIGAスクール構想についてどのように考えているか。

**答弁** GIGAスクール構想とは、「学校における高速大容量のネットワーク環境の整備を推進するとともに、全学年の児童生徒一人一人がそれぞれ端末を持ち、十分に活用できる環境の実現を目指す」もので、現在市教委では、国が令和元年度補正予算で措置した補助金を活用し、校内LAN整備を全ての公立小・中学校で進めており、今年度中に完了する見込みである。

また、国の令和2年度第1次補正予算において、児童生徒一人一台の端末の整備に向けて、必要な財源が措置されたことから、早期実現に向けて準備を進めていきたい。

このほか、外国人児童生徒の就学、公営住宅における連帯保証人制度について質問がありました。



公明党  
 齊藤 佐知子 議員

▼緊急事態宣言解除後の臨時休校の考え方  
**質問** 感染状況によつては、市が独自で休業等の判断をする場面がふえると思うが、臨時休校の考え方は。

**答弁** 緊急事態宣言解除後に、文科省からガイドラインが通知され、臨時休校を行う場合の考え方や留意点等が示された。市教委では、国のガイドラインに従い、感染者が発生した場合などには、道教委や保健所からの助言を受けながら、臨時休校等の必要な措置を判断していきたい。

また、こうした臨時休校を行う場合の判断基準については、市ホームページなどで、保護者等に周知を図っていききたい。

▼子育て支援サービスの確保

**質問** 新型コロナウイルスの影響で学校や保育施設が休業になるなどの緊急時に、保護者が利用できるサービスは。

**答弁** 教育・保育施設の休業時における子供の預け先として、保育所では一時預かり事業があるほか、事前登録が必要だが、ファミリー・サポート事業や緊急サポート・ネットワーク事業による児童の預かりなどにより、子育てサービスを確保している。

今後、再び学校の臨時休校等の措置がなされるケースも想定されることから、ファミリー・サポート事業等の事前登録を呼びかけるほか、市内7カ所に設置している児童センターを活用した預かりサービスなどについて検討していきたい。

このほか、江別市における不登校児童生徒の指導要録上の取り扱いについて質問がありました。



えべつ黎明の会  
 猪股 美香 議員

▼新型コロナウイルス感染に対する誹謗中傷の予防  
**質問** 医療従事者や感染した方への誹謗中傷は、未知のウイルスに対する不安が一因と考えられ、その不安解消のためには、正しい情報を提供し、正しく行動していただくことが重要と認識している。市は、引き続き市民の皆様へ感染予防の取り組みをお願いするほか、誹謗中傷につながる差別や偏見が生じないよう、新型コロナウイルスに関する基本的な知識について、パンフレット等を新たに作成して配布するなど、正しい理解をしていただける取り組みを進めたい。

**答弁** 医療従事者や感染した方への誹謗中傷は、未知のウイルスに対する不安が一因と考えられ、その不安解消のためには、正しい情報を提供し、正しく行動していただくことが重要と認識している。市は、引き続き市民の皆様へ感染予防の取り組みをお願いするほか、誹謗中傷につながる差別や偏見が生じないよう、新型コロナウイルスに関する基本的な知識について、パンフレット等を新たに作成して配布するなど、正しい理解をしていただける取り組みを進めたい。

▼完治後のケアを含めた対応

**質問** 誰もが新型コロナウイルス感染の可能性がある中、感染を理由に企業や学校で不利益を感じるこゝがないようにして欲しい。市は対策を考えているのか。

**答弁** 国の感染症対策の基本的対処方針の中で、感染者等に対する誤解や偏見に基づく差別を行わないことと呼びかけを行うこととしており、学校に関しては、文科省から市町村の教育委員会に対して、差別や偏見の防止など、生徒指導上の配慮を要請している。

市では、企業や学校などの関係機関に向け、新型コロナウイルスに関する基本的な知識についてのパンフレットやポスターを作成して配布するなど、より理解を深めていただける取り組みを進めていきたい。

このほか、新型コロナウイルス感染症の影響下における防災のあり方について質問がありました。



民主・市民の会  
 稲守 耕司 議員

一般質問  
 芳賀 理己  
 佐藤 美佐子  
 齊藤 佐知子  
 猪股 美香  
 稲守 耕司  
 佐々木 聖子  
 奥野 妙子  
 徳田 哲  
 諏訪部 容子  
 岡 英彦  
 島田 泰美  
 内山 祥弘  
 干場 芳子



民主・市民の会  
佐々木 聖子 議員

▼新型コロナウイルス感染症対策の支援体制

**質問** 介護施設等で感染症が発生した場合に、人員不足から介護サービスの提供が困難となることが危惧されるが、市に対して人材支援の要請があった場合は、支援対応が可能なのか。

**答弁** 全国的に集団感染が発生した介護施設等では、感染者との濃厚接触のため、自宅待機となっている方が多く、人材不足や残された職員が疲弊する例が報告されており、人材支援は大きな課題と認識している。

今年5月に、市内介護施設等の集団感染への備えとして、市と介護事業者との連携や介護事業者間における情報共有などによる、感染発生時の防護体制の強化を目的とした江別市介護保険施設感染症対応ネットワークが発足しており、他事業者への人材支援について、アンケート調査等を実施しながら、検討を開始している。

また、道においても、施設事業者間で介護職員を派遣し合う「助け合い」制度の導入が予定されており、詳細はまだ決まってはいないとのことだが、人材の派遣が可能な事業者には、事前に登録してもらい、施設で集団感染が確認された際には、道が派遣の調整を行うという運用を考えており、今後の動向を注視していきたい。

市に人材派遣の要請があった場合の対応については、同ネットワークから支援の考え方について情報提供していただき、どのような対応が可能か検討していきたい。



公明党  
奥野 妙子 議員

▼お悔やみ窓口の設置

**質問** 死亡に関する行政手続の簡素化と遺族の負担軽減のため、お悔やみ窓口の設置について検討が必要では。

**答弁** 市では、死亡届受理の際に必要な手続を掲載したパンフレットをお渡しするほか、一部の課においては関連する手続を連携してご案内するなど、ご遺族の負担軽減に取り組んでいる。お悔やみ窓口の設置については、手続時間の短縮に有効だが、幅広い知識を持つ専任職員の配置や人材育成に加え、個人情報保護に配慮したスペースの確保などの課題があるため、今後、他の自治体の先進事例について情報収集するなど、どのような対応が可能なのか研究していきたい。

▼定期予防接種の期限延長

**質問** 新型コロナウイルス感染症の発生により、予防接種を敬遠した方が多いと推察されることから、定期予防接種の期限を延長する考えはないか。

**答弁** 国の通知では、定められた時期に接種ができなかったことについて、市町村が相当な理由があると判断した場合は、定期接種として取り扱うことができることされており、市は、この通知に基づき、感染症の影響で期間内に接種できなかった方を定期接種として取り扱う。実施に当たっては、期間などについて、対象者の事情等を考慮するとともに、実施機関である医師会等と相談していきたい。また、対象者に極力個別通知を行うほか、対象者を把握できない場合は、市の広報や自治会回覧などで周知を図っていきたい。



公明党  
徳田 哲 議員

▼感染症対策を踏まえた避難所の開設

**質問** 感染症対策を踏まえた避難体制の検討について、スケジュールをどのように考えているか。

**答弁** 感染症の影響下における災害時の避難体制については、避難所の運営に感染症を踏まえた対策が求められるため、市では、国や道、他市町村のマニュアルを参考に避難所運営マニュアルの見直しの検討を進めている。

マニュアルの改訂については、市が原案を策定した後、運営主体となる自治会や自主防災組織に相談するとともに、防災会議への報告を経て、8月中旬を目途に策定したい。

▼自立相談支援機関の体制強化

**質問** 生活困窮者自立支援制度の自立相談支援機関の体制強化について、市の考えは。

**答弁** 市は、自立相談支援機関として江別市社会福祉協議会に、生活困窮者自立支援事業を委託しており、3名の職員で対応している。

新型コロナウイルス感染症の終息の見通しが不透明な状況の中、生活保護に至る前の第2のセーフティネットと言われる生活困窮者自立支援制度の相談体制においては、相談者に寄り添って継続的にかかわっていく、いわゆる伴走型の支援体制の充実など、支援する側の体制の強化が重要であると認識している。

自立相談支援機関の体制強化については、今後の相談件数の推移などを見ながら、同協議会と協議・検討していきたい。



▼今後の総合防災訓練の実施計画

【質問】 新型コロナウイルス感染症の流行を想定してどのような防災訓練を実施していく計画なのか。また、積極的に情報提供をすべきでは。

【答弁】 本年6月に国が作成したガイドラインでは、避難所運営訓練について、避難者の体温や体調の確認のほか、換気や消毒の回数をふやすなどの感染防止に配慮の上、実施することが望ましいとされている。市は、国のガイドラインや道の訓練などを参考に、避難所運営における新型コロナウイルス感染症対策の検討を進めており、訓練の内容や時期について自治会に相談していきたい。6月には、自治会等に感染症を踏まえた災害時の避難にかかわる情報提供を行っており、今後は、避難所運営マニュアルの改訂を進め、自治会や自主防災組織等に情報を知らせていきたい。

▼今後のDV及び児童虐待防止対策

【質問】 コロナ禍におけるストレスなどによるDVや児童虐待の防止対策をどのように進めていくのか。

【答弁】 市では、国が令和4年度までに全市町村への設置を目標としている、子ども家庭総合支援拠点の年内の開設に向けて準備を進めており、専門職の配置を予定していることから、DV及び児童虐待の防止や発生時における迅速な対応のための体制強化が図られると考えている。

この体制のもと、相談できない方や社会とかかわりが少ない方へも一層のアプローチに努め、DV及び児童虐待の防止に取り組みたい。



民主・市民の会  
諏訪部 容子 議員

▼市長の情報発信の課題

【質問】 新型コロナウイルス感染症への対応の情報発信において、何が課題だったと考えているか。

【答弁】 今回の感染症対策においては、国や道、市町村の役割が定められ、感染者の状態や感染経路に関する情報のほとんどは道が所管するため、市は、全体を把握した上で総合的な対策を講じることができず、市民の安全・安心の観点で情報の提供や周知ができなかったことなどが課題であると考えている。

このため、道に対して可能な限りの情報開示を求めるほか、国や道に、改善を要望していきたい。また、行政からの一方的な情報発信ではなく、双方向の情報発信が可能となってきたことから、SNSの活用や動画を使った配信など、情報発信のあり方を検討していきたい。

▼野幌駅前広場の利用促進

【質問】 野幌駅前広場の利用促進のため、市民や事業者の情報提供を行うとともに、ワンストップの相談窓口を設置するべきでは。

【答弁】 駅前広場などの利用方法等に関する情報提供については、施設ごとに利用許可等の前提条件が異なることから、まずは、利活用を考えている方々が必要としている情報の把握に努めたい。

また、駅周辺施設の利用許可を行う機関は、複数にわたることから、イベント開催等に関する相談については、当面は經濟部を窓口として受け付けることを想定しており、今後の相談窓口のあり方について、関係機関と協議していきたい。

このほか、英語教育について質問がありました。



えべつ黎明の会  
岡 英彦 議員

▼避難所における新型コロナウイルス感染症への対応

【質問】 新型コロナウイルス感染症に対応した避難所運営マニュアルの作成をどのように進めていくのか。

【答弁】 市では、国の通知や道の避難所マニュアルなどを参考に、避難所運営マニュアル改訂の検討を進めており、感染症対策として、十分な換気やスペースの確保、避難者及び運営スタッフの健康状態の確認、マスクや消毒液、体温計の持参、専用スペースの確保などを追加する予定である。市が改訂の原案を策定して運営主体となる自治会や自主防災組織に相談し、防災会議への報告を経て、8月中を目途に策定したい。

▼緊急事態宣言の解除基準

【質問】 北海道で第3波の感染拡大が発生した場合において、市独自の対策も含め、緊急事態宣言の解除の基準をどのように考えるか。

【答弁】 国が再度、北海道を緊急事態措置実施区域に指定した後、宣言を解除する場合には、今回の解除時にとられた飲食店等の休業要請緩和の判断などは道が行うため、市として独自の基準を設定することは難しいものと考えている。市は、道の休業要請緩和の判断などを受け、国や道が示す基準をもとに、感染予防措置を講じた上で、市立小・中学校や公共施設の再開時期などを判断することになる。その際には、生活圏を同じくする札幌市の感染者発生状況や対応などを踏まえ、市が設置する新型コロナウイルス感染症対策本部会議において判断していきたい。



自民クラブ  
島田 泰美 議員

一般質問 芳賀理己 佐藤美佐子 齊藤佐知子 猪股美香 稲守耕司 佐々木聖子 奥野妙子 徳田哲 諏訪部容子 岡英彦 島田泰美 内山祥弘 干場芳子



民主・市民の会  
内山 祥弘 議員

### ▼市内公立小・中学校でのICTの活用

**質問** 一斉臨時休校の期間中に、市教委はICTの活用についてどのような検討をし、また、各学校現場においてどのような取り組みがなされたのか。

**答弁** 市教委では、ICT環境整備後のオンライン授業等の導入に向けて検討を行っており、各家庭の実態を正確に把握するために必要な調査を行いたいと考えている。また、学校においては、ICT機器やデジタル教科書の活用方法などの研究や研修が行われたと報告を受けており、このような取り組みは今後のオンライン授業等の導入に向けて有効であると考えている。

今後も道立教育研究所等の関係機関と連携するとともに、各学校と協力しながら、教員の研究・研修機会の確保に努めていきたい。

### ▼新型コロナウイルス感染症に係る国の第2次補正予算への対応

**質問** 国の第2次補正予算の中の「学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援経費」事業の活用について、どのように考えているか。

**答弁** 国の令和2年度第2次補正予算において、学校再開に伴う感染症対策や学習保障等に係る支援経費が措置されたが、現時点では補助要綱等の詳細な内容が示されていない。市教委では、国の動向等の情報収集に努めるとともに、校長会との協議によって、感染防止のための換気対策など、学校の要望を早急に取りまとめ、対応していきたい。



民主・市民の会  
干場 芳子 議員

### ▼不登校児童生徒及び保護者への配慮

**質問** 適応指導教室に通級の児童生徒の保護者懇談会を、不登校児童生徒の保護者全てに拡充する考えは。

**答弁** 昨年度、市教委では、子供の不登校に悩む保護者を支援するため、適応指導教室に通級する児童生徒の保護者懇談会を初めて開催し、抱えている不安の共有や意見交換等を行った。今年度からは、保護者懇談会の対象を通級につながる可能性のある児童生徒の保護者にも広げることとし、6月末開催に向けて案内を行った。今後は、全ての不登校児童生徒の保護者に対し、周知できるよう拡充していきたい。

### ▼緊急サポートネットワーク事業の利用料

**質問** 緊急サポートネットワーク事業の利用料について、近隣自治体と同様に補助することを検討すべきでは。

**答弁** 同事業は、病児・病後児を中心とした緊急性の高い子供の預かりニーズに因應するため、平成21年4月から実施しており、利用料は、おおむね他市と同程度の設定となっているが、補助制度は設けていない。

市では、民間医療機関への補助により、病児・病後児保育に取り組んでいるため、他市に比べ同事業の利用が少ない状況にあると考えている。今後は、相談があったものの、利用に至らなかったケースについて、利用料の影響の有無などを含め、実態の把握に努めたい。

このほか、種苗法の一部改正、ネオニコチノイド系農薬等の使用について質問がありました。

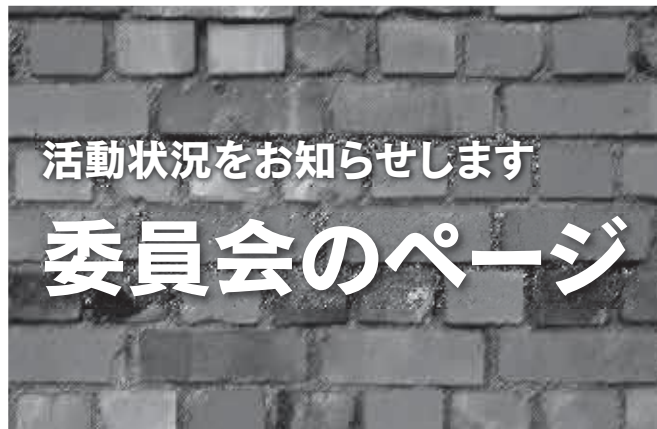
## 議会費の減額を市に申し入れ

このたびの新型コロナウイルス感染症でお亡くなりになられた方々やご遺族の皆様にご心よりお悔やみ申し上げますとともに、罹患された皆様にご心からお見舞い申し上げます。

江別市議会では、本市における新型コロナウイルス感染症に係る経済対策や医療体制の充実等の財源確保のため、一般会計歳出予算のうち議会費、2,99万6,000円を減額補正することについて、6月8日に、議長から市長に申し入れました。

この金額は、本年度に予定していた議会運営委員会及び議会広報広聴委員会の先進地調査を中止とし、さらに、議長及び副議長が出席する予定の会議が新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から書面開催に変更となったため、支出しないことが決定した旅費等の合計額となります。

今後、市において減額補正を行った上で、新型コロナウイルス感染症対策に係る予算として活用される予定です。



## ▶ 議会運営委員会

当委員会では、4月30日に開催された第2回議会ICT化検討ワーキンググループで、タブレット端末及び会議システムの選定について協議を行ったこと、さらに、正副議長、議会運営委員会委員長、ワーキンググループ座長から市長に対して、議会ICT化の検討を再開した旨の申し入れを行ったことについて報告がありました。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、先進都市議会運営調査を中止としたため、調査項目について今後どのように取り扱っていくかを検討しています。

## ▶ 総務文教常任委員会

当委員会では、新型コロナウイルス感染症に係る対応について、教育部より長期間の学校臨時休校と再開に関する報告を受けました。再開に当たり児童生徒の不安解消、保護者への説明、安全・安心な学校生活を送れるよう対策を講ずるための議論がなされました。また、除雪用大型ホイールローダ、災害支援車、救急車などの財産の取得、新栄団地公営住宅建替E棟建築工事請負契約が定例会予定案件として説明されました。さらに、今年度実施される国勢調査についての報告を受けました。

## ▶ 生活福祉常任委員会

「江別市立病院の役割とあり方を検討する委員会」の第2次答申について、市立病院事務局から報告を受けました。経営形態のあり方については、「地方独立行政法人への移行を指向しつつ、集中改革期間(令和2～4年度)においては、地方公営企業法の全部適用に向けた取り組みを進めるべき」とされています。今後は、第1次答申も踏まえた具体的な経営再建策について、市民の皆様幅広く情報を公開し、理解と協力のもと進められるよう求め、当委員会では調査等を実施してまいります。

## ▶ 経済建設常任委員会

6月1日に開催された委員会では、水道部から、停電対策として、北海道電力のブラックアウト対策と当市の2回線受電方式の評価、上水道の2系統水源を活用した対策などのほか、国や道と協議しながら対策を検討する旨の報告を受けました。また、経済部からは、新型コロナウイルス感染症に関し、「経済対策相談窓口」を設置したことなどの報告、建設部からは、江別の顔づくり事業に関し、8丁目通(道道部分)の整備が令和3年度までかかることになったとの報告を受け、それぞれ質疑を行いました。

## ▶ 議会広報広聴委員会

今年は世界規模でのコロナ禍の中、市民の皆様も心安らぐひとときもなく、その拡大防止のために努力を続けています。現在、江別市におきましても、市がかかわるイベントなどのほとんどを自粛しています。

市民の皆様と議員との双方向で交流する貴重な機会である、市民と議会の集いの開催について、当委員会で準備を進めているところですが、今後の影響ははかり知れず、開催につきましては今しばらくお時間をいただきますようお願い申し上げます。

# 江別市議会基本条例・江別市議会会議規則の一部改正について

## 陳情者も意見陳述できるようになりました！

江別市議会では、平成25年3月に「議会基本条例」を制定しています。その中で、市民からの「請願」及び「陳情」を市民による政策提言と位置づけました。

この間、議員の紹介がある「請願」においてのみ、委員会での審査の際に、請願者の希望に応じて意見陳述の場を設けてきたところですが、これまで順調にこの取り組みが行われてきたことから、このたび、「陳情」においても同様に、意見陳述の機会を設けることとしました。

### 江別市議会基本条例の改正部分

（市民参加及び市民との連携）

#### 第5条

5 議会は、請願及び陳情を市民による政策提言と位置付け、（以下、改正部分）

請願の審査においては、当該請願をした者の意見を聴く機会を設けるものとする。

審査においては、当該請願及び陳情をした者の求めに応じて、意見を聴く機会を設けるものとする。

※ 議会基本条例第5条第5項の改正に伴い、委員会の運営について規定した第12条第2項及び会議規則の改正も行いました。

#### 請願・陳情とは

市民の皆さんの要望を市政に反映させる一つの方法として、議会に設けられている制度です。議員の紹介のあるものを請願といい、議員の紹介のないものを陳情といいます。

年齢等に関係なく誰でも行うことができますが、必要事項の記載等、一定の決まりがありますので、不明な点は議会事務局にお問い合わせください。

議会事務局：江別市役所本庁舎3階 TEL 011-381-1051

江別市議会 請願・陳情

検索



▶江別市議会広報広聴委員会 ◎委員長 内山 祥弘 ○副委員長 徳田 哲

●委員 石田 武史、稲守 耕司、猪股 美香、奥野 妙子、清水 直幸、高橋 典子、芳賀 理己